

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管局・部・課	子ども家庭局子育て支援部こども若者成育課
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

1 指定概要

指定管理施設	名 称	北九州市立児童館（39館）	施設類型	目的・機能
	所 在 地	北九州市門司区風師三丁目9番18号他	I	－ ⑦
	設置目的	児童福祉法第40条に規定する児童厚生施設であり、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操をゆたかにするとともに、地域団体と共に児童健全育成に向けた活動を行い、地域交流の場としての機能も果たすことを目的とするもの。		
利用料金制の状況		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制		
指定管理者	名 称	社会福祉法人 北九州市福祉事業団		
	所 在 地	北九州市八幡東区中央二丁目1番1号		
指定管理業務の内容		1 施設の統括管理業務（職員研修等） 2 施設の運営に関する業務 （児童館業務、放課後児童クラブ業務、子育て支援業務等） 3 施設の管理に関する業務（庶務事務、維持管理業務） 4 その他の業務（事業計画等）		
指定期間		令和7年4月1日～令和12年3月31日		

【参考：評価レベル】

評価 レベル	乗 率		評価レベルの考え方
5	100%	良 い	要求水準・目標・計画を大幅に上回り、特に優れた管理運営がなされている
4	80%	↑	要求水準・目標・計画を上回り、優れた管理運営がなされている
3	60%	普 通	要求水準・目標・計画を満たしており、適正に管理運営がなされている
2	40%	↓	要求水準・目標・計画を下回る管理運営がなされている
1	20%		要求水準・目標・計画を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

2 評価結果

評価項目	指定管理者 の自己評価	市（所管局） の評価	市（所管局）の評価理由 ※指定管理者の自己評価との 相違理由 など	配点	得点 (評価結果)
	(評価レベル：0～5)			(100点満点)	
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み				50	36
(1) 施設の設置目的 の達成	3	3	・児童館の年間利用者数は、2館 の放課後児童クラブ廃止の影響 があるなかで、概ね目標数を達成 している。(96.7%) ・学校休業日の8時開館の実施 や、地域団体・外部機関等と連携 しながら各種行事を開催した。	35	21
(2) 利用者の満足度	4	5	・指定管理先と協力して実施した アンケート結果では、満足度が 98.5%となっており、目標値の 95.0%を上回っている。 ・アンケート結果の中でも、「子ど もが児童館に楽しく通っている」 「施設内の職員が子どもたちを しっかり見守っている」「児童館 内行事・イベントが充実してい る」という回答が目立っている。 ・アンケート項目「4-2 児童 館での日常の過ごし方や実施し ている行事について」「9 今後 の児童館の利用について」におい ては、児童館行事や児童厚生員・ 支援員の対応等に対して多くの 率直な意見をいただいております、指 定管理者の努力や工夫が直接的 に表れている。 ・これらのアンケート項目の意見 を参考に、よりよい児童館運営を 目指し、運営を行っている。	15	15
2 効率性の向上等に関する取組み				30	24
(1) 経費の低減等	4	3	・物価高騰の影響がある状況で経 費削減の努力を行いながら、当初 計画と近い経費での運営を行っ た。 ・施設の老朽化が予想以上に進 み、修繕費の支出は当初の計画を 上回ったが、優先順位をつけ、適 切に工事を行っている。 ・当初支出計画をやや上回ってい るが、物価高騰の影響があるなか で、求める水準のとおり、適切に 管理運営されている。	20	12

(2) 収入の増加	4	4	・児童館内放課後児童クラブの利用者増及び保護者負担金単価の増額により、保護者負担金収入が当初計画数値を大きく上回っている。	10	8
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み				20	12
(1) 施設の管理運営 (指定管理業務) の実施状況	4	3	・採用市場が厳しい状況のなか、職員個々のスキルアップ等に努め、適切な人員配置・健全な児童館運営を行った。 ・児童厚生員・放課後児童支援員を対象にした様々な研修の実施や、外部団体主催の研修への職員派遣により、職員の質の向上を図っている。 ・以上については、求める水準のとおり、適切に管理運営されている。	10	6
(2) 平等利用、安全 対策、危機管理体制 など	4	3	・日常的な安全点検の実施や、避難訓練・不審者対応訓練等の実施により、施設利用者の安全管理を行っている。 ・以上については、求める水準とおり、適切に管理運営されている。	10	6
【参考：総合評価ランク】 A：優れていると認められる (80点以上) B：やや優れていると認められる (70点以上80点未満) C：適正であると認められる (60点以上70点未満) D：努力が必要であると認められる (50点以上60点未満) E：かなりの努力が必要であると認められる (50点未満)				合計	100
				総合評価ランク (A～E)	C

【総合評価】 ※指定管理者の特筆すべき功績及び努力を求める点等を踏まえ、総括的に記入してください。

令和6年度末に、長浜児童館及び風師児童館内に設置していた放課後児童クラブを小学校の敷地内に移転し、利用者の減少が想定されるなか、概ね目標値を達成できた点は評価したい。

利用者アンケートにおいても、有効回答数が高く、満足度も98.5%と高いものになっており、児童館運営への多大な努力が見受けられる。

【北九州市指定管理の評価に関する検討会議における意見】

市と指定管理者の評価レベルの相違については課題・認識を共有し、引き続き市と指定管理者と協働で、市民サービスのより良い向上に向けて連携していただきたい。

<参考> 現指定期間中の評価結果

区 分	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)	平 均
評価結果 (合計得点)	68	—	—	—	—	68

※高評価のインセンティブ（更新制）について

- ▶ 1～3年目の平均点が75点以上の指定管理者（指定期間5年間の事業者に限る）について、1期に限り指定の更新（＋5年間）を認めるもの。

※低評価のパナルティ（次期選定時の減点）について

- ▶ 最終年度を除く全指定期間中の平均点が59点以下の指定管理者について、同指定管理施設の次期選定時の審査において減点（総合得点から10点または15点をマイナス）するもの。

事業報告書（指定管理者による自己評価）

1 指定管理施設及び指定管理者の概要

指定管理施設	名 称	北九州市立児童館（39館）
	所 在 地	北九州市門司区風師三丁目9番18号 他
指定管理者 （自己評価者）	名 称	社会福祉法人 北九州市福祉事業団
	所 在 地	北九州市八幡東区中央二丁目1-1
指定期間		令和7年4月1日～令和12年3月31日
事業報告（自己評価）の 対象期間		令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 企画提案事業・自主事業の実施状況（対象：自己評価の対象期間）

企画提案事業	応募時提案 （□にレ点）	実施の有無 （○・×）	備 考 （補足説明等）
	☐		
	☐		
	☐		
	☐		
	☐		
	☐		
	☐		
自主事業	応募時提案 （□にレ点）	実施の有無 （○・×）	備 考 （補足説明等）
	☐		
	☐		
	☐		
	☐		
	☐		
	☐		
	☐		

※応募・申請時の提案書や毎年度の事業計画書等に記載の事業を記入してください。

3 自己評価結果

評価項目及び評価のポイント							自己評価
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み							
(1) 施設の設置目的の達成							評価レベル (0～5)
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。							3
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。							
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。							
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。							
[評価の理由、要因・原因分析]							
・年間利用者数は、長浜児童館及び風師児童館における放課後児童クラブ廃止の影響により、指定管理の提案書における目標値には達しなかったが、保護者ニーズを踏まえ、学校休業日における8時開館を実施するなど、利用者サービスの向上に努めたことで、当該館の学童利用人数を除いた利用者数は全体として増加している。							
・各種行事を開催し、児童館のPRを実施するとともに、参加者の満足度が高い行事を開催することができた。特に、全児童館が参加する「大じどうかんまつり」では、昨年より広い会場を使用したり、明治学園やFUKUOKA じどうかんネットワーク あいくる等、外部機関と企画したブースの設置を行い、地域団体や市外の児童館運営団体との連携を取りながら内容の充実性を高めることで、約4,000人の来場があり、大変好評であった。また、各種行事を通して、児童館同士の有意義な連携も図ることができた。							
(単位：人)							
【利用者数】	6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)	10年度 (4年目)	11年度 (5年目)	
要求水準	-	-	-	-	-	-	
目標値	-	539,723	550,852	562,300	574,080	586,203	
実績	501,581	522,246	-	-	-	-	
※ ・・・評価対象年度							
(2) 利用者の満足度							評価レベル (0～5)
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。							4
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。							
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。							
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。							

⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。							
[評価の理由、要因・原因分析]							
・利用者アンケートにおいて、満足度 98.5%と高い評価を得られることができた。「子供が児童館をととても気に入っている」「職員の先生が優しく、子育てのフォローもあり、ありがたい」「色んな行事があり子供の成長を感じられる」などのご意見を多くいただいた。今後もよりよいサービスを提供できるよう改善を継続していきたい。							
【満足度】	6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)	10年度 (4年目)	11年度 (5年目)	
目標値	-	95%以上	95%以上	95%以上	95%以上	95%以上	
実績	97.6%	98.5%	-	-	-	-	
有効回答数	842 人	919 人					
※ ・・・評価対象年度							

2 効率性の向上等に関する取組み							
(1) 経費の低減等							評価レベル (0～5)
① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。							4
② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。							
③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。							
[評価の理由、要因・原因分析]							
・物価高騰の影響はあるものの、適正な価格での購入や見積競争等を実施し、経費削減に努めた結果、支出額を抑えることができた。							
・採用市場の動向を鑑み、現行の職員による「質の高い運営」を実施する必要性が生じていたため、現行の職員に向けて研修会や講習会の実施・派遣を行うことで、職員個々のスキルアップを図った。結果として、人件費を抑制しつつ、計画どおりの安定したサービス提供を実現した。							
(単位：千円)							
【支 出】	6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)	10年度 (4年目)	11年度 (5年目)	
事業費 支出	計画	-	86,206	87,919	89,644	91,335	93,209
	実績	83,418	82,217	-	-	-	-
人件費 支出	計画	-	790,769	791,422	798,358	798,669	804,026
	実績	755,097	779,955	-	-	-	-
事務費 支出	計画		75,633	74,751	75,332	77,182	76,310
	実績	72,942	106,854	-	-	-	-

固定資産	計画	-	3,025	3,049	3,073	3,097	3,121
取得支出	実績	2,310	4,521				
計	計画	-	955,633	954,092	963,334	967,186	973,545
	実績	913,767	973,547				

- ・修繕費支出については、北九州市からの指定管理料 5,000 千円を超過し、7,496 千円の支出があった。次年度以降は北九州市との連携を密に図り、支出額削減に努める。

(単位：千円)

【うち修繕費】	6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)	10年度 (4年目)	11年度 (5年目)
計画		5,023	5,045	5,067	5,089	5,112
実績	4,755	7,496	-	-	-	-

※ ・・・評価対象年度

(2) 収入の増加

評価レベル
(0～5)

- ① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 使用料（利用料金）収入以外に、自主事業による収入や、企業などの外部からの収入（例：協賛金など）を獲得できているか。
- ③ 自主事業による収益を活用した施設の魅力向上などの投資や、サービス向上などの指定管理業務や市への収益還元の取組みがなされたか。

4

【評価の理由、要因・原因分析】

- ・児童館の広報活動の結果、児童館内放課後児童クラブの利用者増（前年度比 8,151 人増）及び保護者負担金単価のアップを実施したことで、保護者負担金収入増となった。

(単位：千円)

【収 入】		6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)	10年度 (4年目)	11年度 (5年目)
保護者負担金収入	計画	-	147,113	150,052	153,049	156,086	159,186
	実績	148,379	161,355	-	-	-	-
補助金収入	計画	-	566	566	566	566	566
	実績	483	389	-	-	-	-
受託事業収入	計画	-	807,650	806,219	812,488	813,327	816,610
	実績	764,545	811,150	-	-	-	-
雑収入	計画	-	304	304	304	304	304
	実績	359	856	-	-	-	-
計	計画	-	955,633	957,141	966,407	970,283	976,666
	実績	913,766	973,750	-	-	-	-

※ ・・・評価対象年度

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み		
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況		評価レベル (0～5)
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。		4
② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。		
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。		
[評価の理由、要因・原因分析]		
・採用市場の動向が厳しい状況のなか人材確保に努め、適切な人員配置を行い、健全な児童館運営を行った。		
・福祉事業団主催の研修として、普通救命講習や発達支援研修、アレルギー対応研修等を実施するとともに、外部団体主催の研修にも職員を派遣し、職員の質の向上を図った。		
・地域の市民センターや地域交流センターと連携するなどして、地域との連携を図った。		
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など		評価レベル (0～5)
① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。		4
② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。		
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。		
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。		
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。		
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。		
⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。		
[評価の理由、要因・原因分析]		
・児童館の「安全点検表」に基づく、日常的な点検を実施し事故防止に努めている。		
・危機管理に関しては、避難計画、動員計画を策定し、迅速な対応を行えるような体制づくりを実施するとともに、避難訓練や不審者対応訓練等を行い、非常時に備えた。		
・「北九州市福祉事業団個人情報保護規程」に基づき個人情報の保護に努め、入手した情報は施錠できるキャビネット等に収納するなど対策を徹底した。		

【総合評価】

【全体的な評価・今後の対応等】 ・利用者からの満足度は高いが、今後も利用者のニーズにそった児童館運営を行うため、現状に満足せず改善を継続していきたい。 ・厳しい採用市場の動向を踏まえ、新規採用職員を雇用すべく、求職サイトへの求人情報掲載を積極的に行う等の対策を継続していきたい。 ・近年の物価高を鑑み、さらに今後の社会情勢にも注視し、適切な児童館運営を行える収

支状況を目指したい。

【評価レベル】

評価レベル		評価レベルの考え方
5	良 い	要求水準・目標・計画を大幅に上回り、特に優れた管理運営をおこなった
4		要求水準・目標・計画を上回り、優れた管理運営をおこなった
3	普 通	要求水準・目標・計画を満たしており、適正に管理運営をおこなった
2		要求水準・目標・計画を下回り、課題の残る管理運営となった
1		要求水準・目標・計画を大幅に下回り、大いに課題の残る管理運営となった
0	適切でない	不適切な管理運営となった

※この様式は外部にも公表する資料となります。